

小田代原・戦場ヶ原 (1410M、1394M)

【山行日】 2016年7月18日(日)晴れ

【集 合】 小山市役所駐車場

【会 費】 2,700円(やしおの湯温泉代)

【メンバー】 CL:高崎 SL:島田、高木、梶内、横田、飯田

【コースタイム】

小山市役所駐車場 6:00＝赤沼駐車場 8:00～8:15→バス停 8:54→

湯の湖 9:30→昼食(泉門池のほとり) 11:10～11:50→

小田代原(展望台) 12:30～12:35→戦場ヶ原歩道入口 12:50～13:25→

シャクナゲ橋入口→竜頭の滝入り口07KMの表示→

赤沼駐車場 13:50～14:00＝やしおの湯 14:40～15:25＝

小山市役所駐車場 16:50



今回の日光・戦場ヶ原は、昨年のクリーンハイク以来1年ぶりのハイキングです。初春や晩秋に訪れることはあっても、夏のハイキングをこうして揃って歩くことはなかったように思います。

今日のコースは、何度か来ているように思いましたが、普段は戦場ヶ原を歩くハイカーを横目に車で通り過ぎるだけで、花や鳥のさえずりを楽しみながら木道を歩くのは初めてでした。リーダー持参の日光の高山植物ガイドブックを片手に木道沿いに咲く花の名前を調べながら木道を歩きます。この種類を調べるのが一苦勞で、ガイドブックに顔を寄せ合い調べるのですが、似たような花があり、なかなか見つかりません。侃々諤々、みんなでこれはどの花だろうと話し合っている内に時間が過ぎていきます。こんなことなので、リーダーは予定の時間をオーバーすることに気をもんでいるようでしたが、種類を調べることに夢中になったメンバーは、柳に風、一向に気にしません。それでもほぼ予定通り泉門池の休憩地点に到着。

夏でもマガモがいる泉門池のほとりでゆっくり昼食。鶏肉の煮込んだもの(料理の名前を書きとめるのを



を忘れました)、冷えたトマト、キュウリの浅漬けなどをいただきます。食後にコーヒー、紅茶。デザートは、なんとアップルパイをご馳走になりました。お腹がいっぱいで、涼しい木陰で寛いでいると眠くなり、ここで休めたら極楽のようです。「ハンモックでもあればいいね」の声もありました。

今回の山行記を書くにあたって、花の名前や展望の見どころをメモして帰ったのですが、検めると花の種類が多く、どんな花だったかが一向に思い出

せません。とにかく高山植物の宝庫であることを実感しました。少し気になったのは「貴婦人」と呼ばれる白樺です。一目でそれとわかる姿をしていたような気がしましたが、今回は探すのに少し苦勞をしました。まさか英国のEU離脱のショックで日光の貴婦人が小さくなったわけではないでしょうが、少し気になりました。

一日カラマツやミズナラの林を歩き、沢山の花を見て、みなさんと楽しくよもやま話を交わしながらゆっくり木道を歩くことができ、とても心地よいハイキングでした。

帰りに日光の市営温泉で一汗流し疲れを癒しました。皆さんお世話になり楽しい一日でした。(記：飯田)

梅雨の晴れ間の良い天気恵まれ、まわりの山々を見ながら小田代ヶ原の木道を歩き、花の名前を図鑑で調べ、たくさんの花の名前がわかりました。花の先生の前澤さんが参加しなかったので、花の名前を決めるのが大変でした。小田代ヶ原では、アザミの紫色の花が満開でした。アザミの種類も二種類あり、ノアザミは一本の茎に一つ花が咲く種類で、日光あざみは葉がとげとげしていて、



2～3個まとまって咲きます。巴草は花が卍のかたちに咲く黄色い花、イブキトラノオいうトラのしっぽのようにまっしろな花など、名前を探すだけでも大変でした。日頃の山行では、「あっきれいな花」だけで終わってしまうところですが、小学校の理科の観察のようでした。頭を使ったので、お昼になる前に今回はすごくおなかがすきました。一緒に行った皆さん花の名前覚えましたか？

記：N. T